

令和 8 年 3 月 3 1 日

## 令和 7 年度函館大谷高等学校関係者評価報告書

- 函館大谷高等学校関係者評価委員

- ・ 森 博人（函館大谷高等学校 PTA 会長）
- ・ 北山 綾（函館大谷高等学校 PTA 副会長）
- ・ 三浦 美和（函館大谷高等学校 PTA 副会長）
- ・ 熊川 円（函館大谷高等学校 PTA 副会長）
- ・ 和泉 明大（函館大谷高等学校 PTA 事務局長）

- 評価方法

文部科学省の定める「学校評価ガイドライン」に基づき、関係者による自己評価の検証をおこなうべく PTA 役員を評価委員として構成した。評価に際しては令和 7 年度卒業学年の保護者計 108 名に自己点検評価報告書を示したアンケートを実施し、資料とした。なお、アンケートは令和 8 年 3 月 1 日から令和 8 年 3 月 13 日にオンラインフォームにて実施し、送信数 108 に対して 77 の回答を得た（回答率 71%）

### 1. 建学の精神・教育理念、教育目標・学校目標

自己点検評価報告書（以下、自己報告）では、「明治時代、六つの宗旨・宗派からなる函館六和講寺院が互いに宗旨や宗派を超えて、本来の和合僧に立ち返って共同教育事業を起こしたことに始まる学校」にとって、「建学の精神・学園訓は『大谷高校』として最も大切なものであり、具体的な生活で起こる人間の問題を深めていくための指針である」と記されている。学校評価アンケート（以下、アンケート）では 79%の保護者が建学の精神、学園訓および教育目標について「知っていた」と回答しており、昨年度とほぼ同様の結果であった。自己報告 I-2、I-3、I-5 を継続し、さらなる周知が求められる。また、「教育目標に掲げる『人間性・自主性・積極性・協調性』を育てる教育は行われましたか？」という設問に対し、「充分におこなわれた」「ある程度おこなわれた」との回答が大多数を占めており、自己報告 I に特に記される「あらゆる学校教育の中で、建学の精神・教育理念、教育目標・学校目標を意識する中で日々の教育活動を行うこと」の継続が必要である。

## 2. 分掌

### (ア) 教育課程・学習指導（教務）

アンケートでは「学力レベルの把握と対策のための講習、学校生活満足度の把握と対策など、充実した支援はおこなわれましたか？」との設問に対し、91%が「充分おこなわれた」「ある程度おこなわれた」と回答しており、自己報告Ⅱ-4、Ⅱ-8に記される「すべての生徒の学力をあげる」という方針は、一定の成果と理解を得ていると考えられる。一方で、9%が「あまりおこなわれなかった」と回答していることから、「すべての」生徒の学力向上を目指し、一人も取り残すことのないよう、さらなる取り組みの充実が求められる。また、退学・転学等の数は依然として少ないとはいえ、学力の向上と同様に、「すべての」生徒が学び続けることができるような支援体制の継続と強化が必要である。

さらに、近年は発達障害やいわゆるグレーゾーンに該当する生徒の増加も指摘されており、教育課程の面においても、個々の特性に応じた学習面での配慮の充実が望まれる。

### (イ) 生徒指導・部活動

アンケートでは「生徒、保護者に誠実に向き合い、互いに認め合うことができる高い信頼関係は構築されたでしょうか？」との設問に対し、87%が「構築された」と回答しており、自己報告Ⅱ-12に記される「信頼関係を軸に生徒の認識を変えること」が、生徒および保護者に対して着実に浸透してきていることがうかがえる。また、部活動をはじめとする課外活動においても同様の評価が得られており、これらの取り組みについては今後も継続していくことが求められる。

一方で、部活動においては、礼節や規範意識のさらなる育成が重要であるとの指摘もある。各家庭での助言に加え、指導者のもとで、試合前後に自チームのみならず相手チームの保護者にも挨拶を行うことや、チームの備品管理を適切に行うことなど、学校の一員としての自覚を持った行動を徹底することが望まれる。これらの取り組みを通して、生徒の人間的成長を一層促していくことが期待される。

#### (ウ) 進路指導

経済的な事由により進学を諦める生徒を減らすため、保護者向けガイダンスの実施を検討するなど、学校の実情に配慮したきめ細かな進路指導が行われている。アンケートにおいても、81%が「希望通りの進路を実現した」と回答しており、生徒および保護者の希望に沿った進路実現が一定程度達成されていることがうかがえる。このことは、今後進路選択を迎える在校生の保護者にとっても、現在の進路指導が有効であると判断できる材料となるものであり、生徒・保護者と教員、学校とのより一層のコミュニケーションを図りながら、引き続き取り組みを継続していくことが求められる。

#### (エ) 保健管理・安全管理・個人情報管理/危機管理

年度当初に実施する保健調査を通して生徒の健康状態を把握し、情報共有を図ることをはじめ、細やかな対応と連携により、生徒の安全と健康の確保に努めている様子がうかがえる。このことは、アンケートにおける「コロナ禍における健康・安全について学校は適切なサポートをおこないましたか？」との設問に対し、「充分におこなわれた」「ある程度おこなわれた」との回答が94%であったことから裏付けられる。一方で、6%が十分とはいえないと感じていることも踏まえ、生徒一人ひとりに寄り添ったさらなる対応の充実が求められる。

#### (オ) 入試・生徒募集

アンケートの設問「生徒が本校への入学を選択した理由」において、約半数が「部活動」と回答しており、他の項目についてもおおよそ同程度の割合となっている。このことから、部活動が生徒募集における重要な要素の一つであることがうかがえる。また、「学校の様子をきょうだいや先輩から聞いて」本校を選択したとの回答は、実際に本校で学んだ生徒から高い評価が得られていることを示しており、こうした実態を効果的に発信することが、生徒募集の充実につながるものと考えられる。さらに、在校生・卒業生ともに「大谷にして良かった」との満足の声が多く寄せられており、これらの実感を広く周知することが、本校の魅力を伝えるうえで大きな力となると考えられる。

### 3. 管理運営/財務

自己報告Ⅲ、Ⅳから、管理運営は適切に行われ、財務状況も安定していることがうかがえる。また、それらの内容はホームページ等に掲載されており、適切な情報公開がなされている。なお、アンケートでは「就学支援金等の公的支援の適切な活用に加え、所得に応じた入学金の減免をはじめとする独自の支援など、適切な経済的支援」が行われているとの回答が97%に達しており、保護者への支援が十分に行き届き、その内容が実感されているものと考えられる。

#### 【総評】

保護者の声を3例、紹介します。

- 校長先生をはじめ、教師の皆さん心あたたかい先生ばかりで安心して通わせることが出来ました。時には厳しく、時には生徒と一緒に楽しみ盛り上げて一生に残る楽しい思い出を作って頂き感謝の気持ちで一杯です。来年度は娘も大谷高校に入学したいと希望してるので、これからも大谷高校を盛り上げてほしいです。発達障害ある息子を丁寧にご指導、教育して頂けたこと心から感謝申し上げます。ありがとうございます。
- 先生方がとても子供達と信頼関係が出来て子供の良いところをのばして頂き感謝しております。先生も優しいです。部活でも、成長させていただき感謝しております。大谷高校へ入学して良かったと思います。お勧め出来る高校です！！
- 学祭は沢山校内での活動を拝見させてもらい良かったです。できれば体育祭も保護者も見れたら良かったなと思いました。コロナ禍で小学校の卒業式、中学の入学式を見れず、部活でも見られない試合が複数ありました。できる限り見れるものは見たいと思いながら、高校生活を見守りました。最後の、卒業式とホームルーム、とても嬉しかったです。ありがとうございました。

これらの声からも学校が「生徒に寄りそう教育」を実現している様子がうかがえます。様々な事情があつてのこととは思いますが、今後はより多くの生徒にこれが届くことにより、退学、転学等で学校を離れる生徒が少なくなることを望みます。